

いのち 生命を生みだす母親は

いのち 生命を育て

いのち 生命を守ることをのぞみます

第63回

川崎母親大会

2022年
6月19日 10:00~16:10
(9:30開場)

サンピアンかわさき(労働大ホール
会館)会議室

JR川崎駅東口バス乗場から川崎市営バス又は臨港バス乗車約10分、
「労働会館前」下車

資料代 800円 コロナ感染予防のため
定員は380人です。

映画上映 10:00~12:00



未来に残したい、子どもに伝えたい、
お菓子が紡ぐ希望の物語！
大ホール(協力券500円)

アジア・太平洋戦争の前後を舞台にした、小説家・西村滋の自伝的作品「お菓子放浪記」の映画化。戦争孤児となった一人の少年が甘いお菓子への憧れを糧に、過酷な時代をたくましく生きる姿を描きます。

2010年10月から、宮城県石巻市を中心に撮影が行われたが、その5ヵ月後に東日本大震災が発生。エキストラとして出演した多くの市民、協力者の方々が犠牲となり、映画に登場する美しい街並みも津波で流された。しかし、全国各地でこの映画の上映を「復興支援」として話題となり、上映の輪が広がった結果、異例のロングラン上映となった。

分科会 10:00~12:00

身近にある子どもの人権について語ろう！
ブラック校則は変えられる
第3会議室

助言者 大前 博さん

川崎市教職員連絡会事務局次長、
元川崎市公立中学校教員

「子どもの人権問題って、なんか難しそう…。いえいえ、人権って、日々の生活の中で誰でも常に向き合っているんです。「子どものために」「ルール(校則)だから」と、大人にとって都合のよい子となるように強要していませんか？

この分科会では、教育現場で起きているさまざまな人権問題を知り、子どもの自主性を尊重し信頼することで、子どもの居場所である学校、家庭、社会を変えていくことができるのか？ 参加者のみなさんと話し合い、学び合います。

全体会 13:10~16:10

文化行事 ハンドベル演奏
サークルねぎぼうず
& Mellow

ハンドベルは400年前にイギリスで生まれ、教会音楽から現代音楽まで幅広く演奏しています。ベルは、音高、リズム、音色が繊細で息を合わせての演奏が大事。

本サークルは結成して26年、次世代につなぎながら演奏してきました。音楽の癒しをどうぞ……



記念講演 平和な世界を手渡そう！
～地球はみんなの故郷だから～

講師 井田 徹治さん(科学ジャーナリスト)

共同通信社編集委員(環境・エネルギー開発問題担当)

1959年生まれ。1983年東京大学文学部卒業、共同通信社入社。2001年～2004年、ワシントン支局特派員(科学担当)、環境と開発の問題を長く取材。気候変動に関する政府間パネル総会、ワシントン条約締結国会議、環境開発サミット、国際捕鯨委員会総会など、多くの国際会議を取材。

著書に、「次なるパンデミックを回避せよー環境破壊と新興感染症ー」



- 分科会報告、運動の発言交流
- アピール・決議

ご参加のみなさんへ

■新型コロナウイルス感染防止対策のため、当日券は発売しません。チケットをお持ちの方のみの参加となります。(お名前・住所・連絡先等を事前に記入してお持ちください)

■感染拡大の状況により、大会延期の判断をする場合もありますのでご了承ください。 ■マスクの着用は必須です。

主催：第63回川崎母親大会実行委員会 実行委員長 佐野セイ
(事務局)川崎市高津区新作6-3-10(照井方) 携帯090-8109-3829(照井携子)

実行委員会参加団体

7行政区母親連絡会/新日本婦人の会川崎7支部連絡会/退職教職員連絡会/川崎の教科書を考える市民の会/川崎建設労働組合連合会主婦協議会/川崎民主商工会婦人部協議会/全日本年金者組合川崎支部女性部/治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟川崎支部/京浜協同劇団/川崎合同法律事務所